

# 平成 30 年度 全国学力・学習状況調査結果から見た 扶桑町の児童生徒の状況

学校教育課 内線 341

今年 4 月 17 日に行われました「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせします。対象学年は、小学 6 年生と中学 3 年生です。個人の状況は、既に該当学年の保護者の皆様にお知らせしました。ここでは、扶桑町全体の傾向について報告をします。

なお、記述にあたりまして「[序列化や過度な競争をまねく数値の公表はしない]」という方針をとっています。また、児童生徒には、個人差があります。以下に掲載させていただきました内容が誰にもあてはまるわけではありませんので、ご理解いただきますようお願いします。



## 1. 学力に関して (A: 主として知識、B: 主として活用)

◎平均正答率について ◇定着している内容 ◆課題である内容

町内小学校 6 年生の平均正答率より	町内中学校 3 年生の平均正答率より
<p>◎【国語 A】全国レベルと同程度である。 ◇相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて筋道を立てて話す。 ◆漢字を正しく使う。</p> <p>◎【国語 B】全国レベルと同程度である。 ◇他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉える。 ◆目的に応じて自分の考えを明確にしながら読む。</p>	<p>◎【国語 A】全国レベルと同程度である。 ◇文脈に即して漢字を正しく読む。 ◆場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。</p> <p>◎【国語 B】全国レベルと同程度である。 ◇質問の意図を捉える。 ◆文章の構成や展開について自分の考えをもつ。</p>
<p>◎【算数 A】全国レベルと同程度である。 ◇数の大小についての理解や異種の二つの量の比べ方を理解する。 ◆グラフから変化の特徴を読み取る。</p> <p>◎【算数 B】全国レベルと同程度である。 ◇数量の関係を考察し、式や記述で表現できる。 ◆条件に合う図形を見いだすことができる。</p>	<p>◎【数学 A】全国レベルを上回っている。 ◇指数を含む正の数と負の数の計算ができる。 ◇見取図、投影図から空間図形を読み取る。</p> <p>◎【数学 B】全国レベルを上回っている。 ◇問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。 ◇与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる。</p>
<p>◎【理科】全国レベルと同程度である。 ◇問題に対応した視点で分析できる。 ◆実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、記述できる。</p>	<p>◎【理科】全国レベルを上回っている。 ◇化学変化を原子や分子のモデルで説明できる。 ◇神経系の働きについて理解する。</p>

## 2. 学習状況等に関して

- 小学校、中学校ともに、多くの児童生徒が朝食を毎日食べていると回答しており、ご家庭の協力のもとにより生活習慣が身に付いています。
- 「自分には、よいところがあると思いますか」の問いには、小学校で高い結果が得られ、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の問いには、小学校、中学校ともに高い結果が得られました。
- 小学校、中学校ともに、「学校の規則を守っていますか」の問いに高い結果が得られ、落ち着いた学校生活を送っていることを裏付けています。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問いに、ほとんどの児童生徒が「いけない」という意識をもっている回答を得ました。
- 小学校、中学校ともに、「家で学校の宿題をしていますか」の問いに、とても高い結果が得られました。しかし、自主的な予習、復習までにいたっておらず、計画的に家庭学習を進めることが得意でないという傾向が見られます。